

登録番号第 9795 号

## 三井東圧クロールピクリン

●幅広い作物に使える土壌消毒剤の決定版。  
 特長：●長い間使われ続けている実績があります。  
 ●高濃度のクロールピクリンです。

有効成分	クロールピクリン (PRTR 法第1種)・・・99.5%	包装	16.5kg×1
性状	刺激臭ある無色透明揮発性液体比重 1.6～1.7 (20℃)	有効年限	5年
毒性	劇物	危険物	-

2016年4月6日現在の内容です。

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロールピクリンを含む 農薬の総使用回数
りんご	紋羽病	1穴当り 5～10mL	1回	土壌くん蒸	1回
あぶらな科野菜 (キャベツ、こまつなを除く)	萎黄病 セチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
こまつな	萎黄病 セチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
だいこん	亀裂褐変症	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
はくさい	黄化病 軟腐病 根くびれ病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
かぶ	根こぶ病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
キャベツ	萎黄病 根こぶ病 セチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
レタス	ビッグベイン病	〈圃場〉 1 穴当り 3mL	1 回	土壌くん蒸	1 回
	根腐病 セチユウ類 ハガネシ類 ネリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL			
非結球レタス (サダ菜を除く)	ビッグベイン病	〈圃場〉 1 穴当り 3mL	1 回	土壌くん蒸	1 回
	根腐病 セチユウ類 ハガネシ類 ネリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL			
サダ菜	ビッグベイン病	〈圃場〉 1 穴当り 3mL	2 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 1 回以内)	土壌くん蒸	2 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 1 回以内)
	根腐病 セチユウ類 ハガネシ類 ネリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL			
くきちしゃ	ビッグベイン病	〈圃場〉 1 穴当り 3mL	1 回	土壌くん蒸	1 回
	根腐病 セチユウ類 ハガネシ類 ネリムシ類 クワ 一年生雑草	〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL			
ほうれんそう	萎凋病 株腐病 立枯病 苗立枯病 根腐病 ホリウツカガコダニ セチユウ類 ハガネシ類 ネリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL	1 回	土壌くん蒸	2 回以内 (床土 1 回以内)

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
うり科野菜 (すいか、きゅうり、メロン、にがうり、うり類 (漬物用)を除く)	疫病 つる割病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
漬物用メロン	疫病 つる割病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
にがうり	疫病 つる割病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
うり類(漬物用、ただし、漬物用メロンを除く)	疫病 つる割病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
きゅうり	疫病 つる割病 白絹病 苗立枯病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
	ホモダシ根腐病	〈圃場〉 1穴当り 3mL			

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
メロン	疫病 つる割病 白絹病 苗立枯病 黒点根腐病 セチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3~5mL <圃場> 1穴当り 2~3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
かぼちや (かぼちや台を 含む)	フザリウム立枯病	<床土・堆肥> 1穴当り 3~6mL	1回	土壌くん蒸	1回
	フザリウム立枯病 一年生雑草	<圃場> 1穴当り 3~4mL			
すいか	疫病 苗立枯病 つる割病 白絹病 セチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3~5mL <圃場> 1穴当り 2~3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ピーマン	青枯病 萎凋病 疫病 セチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3~5mL <圃場> 1穴当り 2~3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
とうがらし類	青枯病 萎凋病 疫病 セチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3~5mL <圃場> 1穴当り 2~3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
トマト	青枯病 萎凋病 疫病 苗立枯病 半身萎凋病 セチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3~5mL <圃場> 1穴当り 2~3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
ミトマ	青枯病 萎凋病 疫病 苗立枯病 半身萎凋病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 ケ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL	2 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 1 回以内)	土壌くん蒸	3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)
なす	青枯病 疫病 苗立枯病 半身萎凋病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 ケ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL	1 回	土壌くん蒸	2 回以内 (床土 1 回以内)
いちご	萎黄病 炭疽病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 ケ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL	2 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 1 回以内)	土壌くん蒸	3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)
アスパラガス	立枯病 紋羽病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 ケ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL	1 回	土壌くん蒸	2 回以内 (床土 1 回以内)
セリ	萎黄病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 ケ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL	2 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 1 回以内)	土壌くん蒸	3 回以内 (床土 1 回以内、 圃場 2 回以内)
しょうが	根茎腐敗病 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉1 穴当り 2～3mL	1 回	土壌くん蒸	2 回以内 (床土 1 回以内)
うど	萎凋病 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1 穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1 穴当り 2～3mL	1 回	土壌くん蒸	1 回

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
にんじん	こぶ病 しみ腐病 紋羽病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
ごぼう	黒あざ病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
かんしょ	立枯病 つる割病 紋羽病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
さといも	疫病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
やまのいも	褐色腐敗病 根腐病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
やまのいも(むかご)	褐色腐敗病 根腐病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
ばれいしょ	青枯病 亀の甲症 そうか病 セチュウ類 ハガネシ類 ネリシ類 ケ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
ねぎ	萎凋病 白絹病 苗立枯病 セチュウ類 ハガネシ類 ネリシ類 ケ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
あさつき	萎凋病 白絹病 苗立枯病 セチュウ類 ハガネシ類 ネリシ類 ケ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
わけぎ	萎凋病 白絹病 苗立枯病 セチュウ類 ハガネシ類 ネリシ類 ケ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
たまねぎ	疫病 苗立枯病 セチュウ類 ハガネシ類 ネリシ類 ケ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
こんにゃく	乾腐病 白絹病 根腐病 紋羽病 セチュウ類 ハガネシ類 ネリシ類 ケ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
パセリ	立枯病 一年生雑草	<圃場> 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
にんにく	任がルセンチュウ 一年生雑草	<圃場> 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
薬用にんじん	根腐病 一年生雑草	<圃場> 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
豆類 (種実、ただし、 いんげんまめ、 えんどうまめ を除く)	立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
豆類 (未成熟、ただ し、さやいんげ ん、未成熟そら まめ、さやえん どう、実えん どうを除く)	立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
えんどうまめ	苗立枯病 根腐病 萎凋病 立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
さやえんどう	苗立枯病 根腐病 萎凋病 立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジミ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)



作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
実えんどう	苗立枯病 根腐病 萎凋病 立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
いんげんまめ	立枯病 根腐病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
さやいんげん	立枯病 根腐病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
未成熟そらまめ	立枯病 白絹病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)
てんさい	黒根病 苗立枯病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
あま	立枯病 センチュウ類 ハガネシジメ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	<床土・堆肥> 1穴当り 3～5mL <圃場> 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
麦類	立枯病 センチュウ類 ハガネムシ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
とうもろこし	白絹病 センチュウ類 ハガネムシ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
陸稲	センチュウ類 ハガネムシ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
にら	紅色根腐病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
みょうが (花穂)	根茎腐敗病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
みょうが (茎葉)	根茎腐敗病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	2回以内 (床土1回以内)
オクラ	半身萎凋病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
ふき	半身萎凋病	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
花き類・観葉植 物	青枯病 半身萎凋病 萎凋病(フザリウム菌) 萎黄病(フザリウム菌) 株枯病(フザリウム菌) 乾腐病(フザリウム菌) 球根腐敗病(フザリウム菌) 立枯病(フザリウム菌) 葉枯病(フザリウム菌) 腐敗病(フザリウム菌) センチュウ類 ハガネムシ類 ネキリムシ類 クワ 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
きく	白絹病 立枯病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)

作物名	適用病害虫名 適用雑草名	使用量	本剤の 使用回数	使用方法	クロルピクリンを含む 農薬の総使用回数
カーネーション	萎凋細菌病 立枯病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
りんどう	褐色根腐病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
しゃくやく	根黒斑病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
ぼたん	根黒斑病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、圃 場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
百日草	苗立枯病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
宿根かすみそ う	立枯病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
トルギキョウ	根腐病	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	2回以内 (床土1回以内、 圃場1回以内)	土壌くん蒸	3回以内 (床土1回以内、 圃場2回以内)
かんきつ(苗 木)	温州萎縮病	〈圃場〉 1穴当り 5mL (40% <sup>1</sup> /10a)	1回	土壌くん蒸	1回
いちじく(苗 木)	白絹病 センチュウ類	〈圃場〉 1穴当り 3mL	1回	土壌くん蒸	1回
桑	紋羽病	1穴当り 5～10mL	1回	土壌くん蒸	1回
たばこ	疫病 黒根病 白絹病 立枯病 わい化病 センチュウ類 ハガキ類 ネリ類 ク 一年生雑草	〈床土・堆肥〉 1穴当り 3～5mL 〈圃場〉 1穴当り 2～3mL	1回	土壌くん蒸	1回
	立枯病	〈圃場〉 1穴当り 2mL		深層 土壌くん蒸	

については有効成分を含む農薬の総使用回数を示すものです。

## 使用上の注意事項

- (1) 温度が低いと本剤のガス化が悪く、十分な効果が得られないこともあるので、なるべく地温が7℃以上の時使用すること。
- (2) 本剤を処理する場合、液漏れ、液だれがなく正確に注入量を調節できる土壤消毒機を使用すること。本剤を床土・堆肥に処理する場合は、床土・堆肥を30cmの高さに積み、30×30cmごとの深さ約15cmの位置に所定量を注入し、直ちに覆土する。更に30cmの高さに積み上げ、これをくり返し、最後にポリエチレン、ビニール等で被覆し、7日以上おくこと。本剤を圃場に処理する場合は、耕起、整地後、全面処理の場合は、30×30cmごとの深さ約15cmの位置に所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆すること。播種溝処理、植穴処理、うね処理の場合も全面処理に準じて処理すること。処理後10日以上経過してから播種または移植すること。りんご、桑に使用する場合は、あらかじめ病株、病根等を除去した後、約60cmの深さに耕起、整地し、全面処理の場合は、30×30cmごとの深さ30~40cmの位置に所定量を注入し、直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆すること。処理後20日以上経過してから植付ける。植穴処理の場合も全面処理に準じて処理すること。
- (3) 本剤をたばこの立枯病に対して深層土壌くん蒸（深度30cm処理）する場合は、深層土壌くん蒸に適した深層土壌消毒機を用い、40×40cmごとの深さ30cmの位置に所定量を注入し、直ちに覆土、鎮圧する。この場合、クロルピクリンのガスは土中で徐々に拡散し、地表面からの急激なガス揮散がないので、ポリエチレン、ビニール等による被覆は特に必要としない。但し、砂質土壌や土塊の残る圃場等においては被覆を行うこと。薬剤の注入位置が深いため、ガス抜けに時間がかかるので、くん蒸処理後からうね立までの期間を1ヶ月以上とること。窒素吸収量が増加するので、土壌に応じた減肥をすること。使用に当たっては、関係機関の技術者の指導を受けること。
- (4) 本剤をかんきつ（苗木）に使用する場合は、あらかじめ病株を伐採、伐根した後開墾し、50cm×50cmごとの深さ30cmおよび50cmの位置のそれぞれに所定量1穴当り5mLを注入する。注入後直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。処理後20日以上経過してから植付ける。
- (5) 本剤の処理に当たっては、ガスが土中で十分拡散するよう耕起、砕土を十分に行い、丁寧に整地してから処理すること。但し、耕起直後ではガスが抜けやすいので、耕起後しばらくたって土壌がおちついてから処理することが望ましい。また、土中でのガスの拡散は土の湿り気のある時、すなわち土を握って放すと割れ目ができる程度の時に注入するのが最適である。注入部位を直ちに覆土し、地表面をポリエチレン、ビニール等で被覆すること。
- (6) 地温が15℃以上の時は処理後10日位、また、地温が低い時は処理後20~30日経過するとガスは大体抜けるが、念のためくわを入れ、土質、気温等により、なお臭気が残っている時は、よく切り返し、完全にガス抜きを行ってから、播種あるいは移植すること。うり類は本剤のガスに弱いので、ガス抜きは特に丁寧にやるように注意すること。
- (7) 本剤でくん蒸した本圃に豆科植物を栽培するときは、根りゅう菌が死滅しているおそれがあるので、根りゅう菌を接種して、播種すること。
- (8) 作物の生育中には薬害を生じるので使用しないこと。隣接地に生育中の作物がある場合には、揮散ガスによる薬害に注意すること。特に、生育中の作物があるハウス内では使用しないこと。
- (9) りんご、桑等の跡地消毒の場合、隣接株より50cm以上離して処理すること。また、ガスの抜けを確認してから植付けること。
- (10) ミツバチの巣箱周辺での使用はさけること。
- (11) 消石灰などのアルカリ性肥料の施用直後に本剤を処理すると作物に有害な物質を作り、薬害の発生するおそれがあるので、このような肥料はガス抜き後に施用するか、または本剤処理の10日以上前に施用すること。
- (12) 他剤と混用しないこと。特にカーバム剤およびカーバムナトリウム剤とは化学反応により、発熱し危険であるので、カーバム剤及びカーバムナトリウム剤使用後の散布器具等はよく洗浄してから用いること。
- (13) 金属腐食性があるので、使用後の注入器具その他は灯油でよく洗うこと。
- (14) 薬液の入っている製品缶に水が混入すると缶が腐食するおそれがあるので、製品缶には水を入れないこと。
- (15) 土壤消毒機の薬液タンク（ポリタンク等）に移した薬液は水分を含んでいる可能性があり、製品缶を腐食するおそれがあるので、残存薬液は製品缶に戻さず、使い切ること。
- (16) 処理後の放置期間と効果・薬害との関係は、土壌の種類、腐植土の多少、温度、土壌水分、作物の種類によって様ではないので、本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意すること。特に初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

- (1) 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、直ちに医師の手当を受けさせること。本剤は窒息性有毒ガスを発生するので、揮散したガスを吸い込まないように注意すること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には、通風の良好な場所で顔を横に向け、体を暖めながら直ちに医師の手当を受けること。場合によっては、酸素吸入又は人工呼吸を行い、強心剤等を投与する。
- (2) 本剤は催涙性の刺激を有し、眼、のど、鼻を刺激するので注意すること。ガスが眼に入りひどく痛む時は、多量の水で

- よく洗い速やかに眼科医の手当を受けること。
- (3) 本剤は皮膚に対して強い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
  - (4) 本剤の投薬作業の際は吸収缶（活性炭入り）付き防護マスク、保護眼鏡、不浸透性手袋、ゴム長靴、不浸透性防除衣などを着用すること。ガス抜き作業の際も同様の防護マスク、保護眼鏡を着用すること。作業の際はガスを吸い込まないよう風向き等を十分考慮すること。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに洗眼すること。
  - (5) 本剤が衣服等に付いた場合には、脱衣して他のものとは分けてよく洗濯し、本剤の臭気が抜けるまで身につけないこと。
  - (6) かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
  - (7) 作業中及びくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係のないものや家畜、家禽が立ち入らないよう十分注意すること。
  - (8) 揮散ガスによる危被害を防止するため、本剤の処理は朝夕の気温の低い時間帯に行うこと。処理後は直ちに、必ずビニール等で被覆を行うこと。但し、たばこに対して深さ 30cm に注入処理する深層土壌くん蒸の場合は、クロルピクリンのガスは土中で徐々に拡散し、地表面からの急激なガス揮散がなく周辺環境への影響も少ないので、ビニール等による被覆は特に必要としない。この場合は被覆を行わないため、その使用方法を厳守すること。なお、乾燥した砂質土壌や土塊の残る圃場等において、深層土壌くん蒸の覆土、鎮圧効果が期待できない場合は被覆を行うこと。
  - (9) 住宅、畜舎、鶏舎周辺での使用に当たっては、以下の事項に留意し、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮すること。
    - 1) 高温期の処理をさげ、気温の低い季節に処理するのが望ましい。
    - 2) 住宅、畜舎、鶏舎が風下になる場合、処理を控えること。
    - 3) 被覆資材は厚めのもの（0.03mm 以上）を使用すること。
    - 4) 風の強さや向きが変わり、危被害を及ぼすおそれがある場合は、ガス抜き作業を中断すること。
  - (10) 本剤をビニールハウス等の施設内で使用する場合、出入口、天窓、側窓等を開け通気をよくして作業を行うこと。作業後は直ちに密閉し、臭気が残っている期間にはハウス内へ入らないこと。くん蒸後はハウスを開放し、十分換気した後に入室すること。
  - (11) 本剤を使用する場合、注入処理と同時に被覆する機能を備えた土壌消毒機を使用することが望ましい。

#### 水産動植物に有毒な農薬については、その旨-----

- (1) 本剤は水産動植物（魚類、甲殻類、藻類）に強い影響を及ぼすので、河川、湖沼、海域及び養殖池に本剤が飛散、流入するおそれのある場所では使用しないこと。
- (2) 散布器具・容器の洗浄水及び残りの薬液は、河川等に流さないこと。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。

#### 引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨-----

本剤は皮膚に対して強い刺激性がある。

#### 貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさげ、鍵のかかるなるべく低温な場所に密栓して保管すること。